

144締固め用機械を起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2018	1	12 ～ 13	工場内の材料置き場にて、高さ60cmほどの鉄板を積み重ねた山の上より、隣に置いてあるH鋼のサイズ（幅1m）を測ろうとした際、足元に鉄板があるとの思い込みによる不注意で、鉄板の上より足を踏み外し、鉄板の山とH鋼の間に転落し、H鋼の輪木の上に左足より着地し、左足首をひねり負傷した。	59	7	30106	10 ～ 29 人
2	2018	2	14 ～ 15	ローラー車に乗って土を固めていたところ、後進レバーに入れるつもりが、前進レバーを入れてしまい、ローラー車と土の壁の間に体が挟まった。	36	7	30199	10 ～ 29 人
3	2018	3	16 ～ 17	農道工事現場にて路床盛り土をローラーで後進転圧中、路肩に後輪が落ちバランスをくずしてそのまま約7m下へローラーとともに転落した。	66	1	30106	1 ～ 9 人
4	2018	4	13 ～ 14	工事現場基礎工事の、土地の砕石転圧をするために1tの振動ローラーで前後に往復しながら転圧を掛けていたとき、水栓カバーが外れて手前に落ちたところ踏みつけて、カバーが潰れそうだったのでスイッチを切らずに拾おうとして右手第一関節をローラーに挟まれ切れてしまった。	39	7	30202	10 ～ 29 人
5	2018	7	14 ～	アスファルトの舗装作業中、ほうきで掃いていたところ、後ろからアスファルトフィニッシャーがバックしてきていたことに気付かず、左	30	7	30199	1 ～

			15	足をフィニッシャーに踏まれ負傷した。				9 人
6	2018	8	17 ～ 18	ボックスカルバートの埋め戻し作業で、後方に法面があり、ローラーの後輪が乗り上げ、作業場が傾斜地でありローラーが横転し、オペレーターが飛び降り、左足を負傷した。	67	1	30106	1 ～ 9 人
7	2018	11	10 ～ 11	構内で穴埋め作業中、コンバインドローラー運転手が、しゃがんで作業をしていた被災者に気付かずにバックした。その際、ブレーキを踏んだが間に合わず、被災者が右足を轢かれて骨折した。	22	6	30199	10 ～ 29 人
8	2018	11	15 ～ 16	休憩のため、ローラーを真砂土の上に止めたところ、ローラーが下がってきたため、被災者が慌てて止めようとしたところ、ローラーに挟まれた。	71	6	30199	1 ～ 9 人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。